

河南町多目的ふれあい交流施設整備事業に係る環境影響評価事後調査報告書
 に対する御意見と対応内容について

NO	御意見	対応内容
1	<p>濁水の調査をされているが、降雨の少ないときに調査しており、それで17mg/lだから良いんだという事後調査はよくない。</p> <p>例えば予測したときの降雨条件は何ミリの雨だったと、だけでも実際に調査当日の雨はこうだったのでこのくらいの結果だったという評価がないと、これだけでは事後調査にならないと思う。</p>	<p>事業者は、御指摘のとおり、予測時の降雨条件と異なった条件で調査していることを前提に考察し、21ページのとおり検証結果の記載内容を修正しております。</p> <p>なお、事務局としても、今般の技術指針改正でも明記したとおり、適切な条件で調査が行われるよう、今後も事業者を指導してまいります。</p>
2	<p>土地利用計画が変更され、建物や利用施設等が当初計画したものと異なったものになった事による、影響や問題点は出なかったのだろうかと疑問に思いました。</p>	<p>事業者は、計画の変更が生じた際に、資料編 1～27ページのとおりの内容で、計画の変更に伴う再予測・評価を行い、事務局へ報告しており、事務局としても問題なしと判断しておりました。</p> <p>しかしながら、今後事業内容の変更等が明らかになった場合は、技術審査会へ御報告するようにいたします。</p>
3	<p>大気予測値について</p> <p>この予測値は一般的に言えば、あり得る数値です。NO₂について言えば0.04ppmの基準に対して、供用後0.0297という数値も十分考えられる数値です。この地域には大都市はありませんが、多くの調査で、仙台市などほどではありませんが、大きな数値が出ることを示されています。理由は、推定になりますが、生活や経済活動において、車両の利用が必須だからです。この様な数値は気象条件等によって大きく変化します。どんな条件を想定して予測していたかが重要です。冬季、降水が無く、風が弱いとき大きくなります。そのような場合について予測することが重要です。予測した気象条件等を明記してください。</p>	<p>事業者は、御指摘のとおり、予測した気象条件について、資料編15ページのとおり明記しております。</p>
4	<p>事後調査報告書については、施設の場合完成後の写真を入れることが望ましい。</p>	<p>事業者は、御指摘のとおり、6～14ページに完成後の写真を追加しております。</p>